

橘高等学校定時制 令和5年度 教科 国語 科目 現代の国語 年間授業計画

教科 : 国語 科目 : 現代の国語 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名 : (1組 : 並木信人、小池泰子)

使用教科書 : (新編現代の国語 大修館書店)

使用教材 : (自作ワークシート)

科目 現代の国語 の目標 :

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。		論理的に考える力、他者に共感する力、想像する力を伸ばし、言葉で伝えあう力を高める。		現代社会における多様な話題・題材に対して興味を持ち、言語活動を通して、主体的に学習する態度を身に付ける。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 学期	○「変わる」ことについて、筆者の考えを読み取り、高校生活を始めるにあたっての参考にする。 ○筆者の主張をふまえて、コミュニケーションに対する意欲を持つ。	ことばの学びに向けて ○「変わる」ことを楽しもう ○コミュニケーションは技術だ	【知】筆者の主張や根拠などの関係について、理解している。 【思】文章の叙述にもとづいて、要旨や要点を把握している。 【態】自主的な思考、コミュニケーションに前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	24
2 学期	○場面や目的に応じて適切な言葉を選び、適切に使い分ける。 ○表記や係り受けに注意して、正確で整った文を書くとともに、接続表現を使いこなして論理的でわかりやすい文や文章を書く。	日本語をつかひこなす ○言葉の使い分け ○正しく書こう ○文を整え、文をつなぐ ○伝わるように話そう	【知】場面や目的に応じた適切な言葉、表現の特色について、正しく理解し、書いたり話したりできる。 【思】場面に応じて適切に対応することが出来、表現を工夫することが出来る。 【態】正しい表現に取り組み、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	28
3 学期	○説明のしかたに注意して文章を読み取る能力を身に付ける。 ○わかりやすい説明のしかたを身につける。	わかりやすく説明する ○人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか。 ○ナンバーワンか、オンリーワンか	【知】説明のしかたに注意して文章を読み、わかりやすい説明のしかたを身につける。 【思】的確に読解する力を養い、自分でも正確に表現できるようにする。 【態】意欲的に説明に取り組む。	○	○	○	18
配 当 合 計 時 間							70

橘高等学校定時制 令和5年度 教科公民科目公共 年間授業計画

教科 : 公民 科目 : 公共 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第1学年

教科担当者名 : (幸田 まゆ)

使用教科書 : (高等学校公共 これからの社会について考える 数研出版)

使用教材 : (自作プリント)

科目 公共 の目標 : 現代社会の諸課題を身近な問題として理解し、課題解決の方法を考える。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
現代社会の基本原則を理解し、資料等から諸課題についてとらえる。		現代社会の諸課題について自分の意見を持ち、課題解決に向けて考える。		現代社会で起こっている事象に関心を持ち、よりよい社会の実現を目指す態度を養う。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 学期	○青年期の課題を理解し、社会の一員として社会参画する重要性をとらえる。 ○個人として、共同体の一員として、よく生きるとはどのようなことなのか理解する。 ○世界の思想家のさまざまな思想内容を理解する。	○公共的な空間をつくり私たち ○大人ってどんな人? ○お互いを理解し尊重するために ○誰もが生きやすい社会へ ○公共的な空間における人間としてのあり方 ○西洋近現代の思想	【知】 青年期の課題や他者とのかかわりの中で自己形成をしていくこと、他者とかかわりの中で自己形成することの重要性を理解している。 【思】 みんなが幸せな社会とはどのようなものか自分の考えをまとめている。 【態】 個人として、社会の一員として、よりよい社会をつくろうと主体的に取り組んでいる。	○	○	○	14 10
		○人間の尊重と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配などの基本原則について理解する。 ○日本国憲法の三大原則について理解する。 ○具体的な事例を資料から読み取り、新しい人権について理解する。 ○法などの社会規範の役割を理解する。 ○契約や消費者の権利、消費者を守る制度について理解する。	○公共的な空間における基本原則 ○民主社会の基本原則 ○日本国憲法の基本原則 ○新しい人権の広がり ○ルールをつくり守る私たち ○法と契約 ○消費者の権利と消費者問題	【知】 民主政治を実現するための制度や方法を理解している。日本国憲法の三大原則と憲法が保障する人権について理解している。 【思】 社会の変化から新しい人権が生まれ、新たな課題が生まれていることについて自分の考えをまとめている。消費者問題に関心を持ち、その解決方法について考えをまとめている。 【態】 よりよい社会の実現に向けて、政治を通して主体的に行動することや解決の方法を考えようとしている。	○	○	○
3 学期	○国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割を理解する。 ○国際連盟、国際連合の組織とその役割について理解する。 ○国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割を理解する。	○政治に参加する私たち ○国際法と領土 ○国際連合の成立と役割 ○日本の平和主義と安全保障	【知】 国際法の意義や国際紛争を解決する課題について理解している。 【思】 国際平和を守る国際連合の現状と課題について自分の考えをまとめている。 【態】 日本の安全保障や集団的安全保障と平和主義の関係を、自分事としてとらえ、課題解決の方法を考えようとしている。	○	○	○	18
配 当 合 計 時 間							70

橘高等学校定時制 令和5年度 教科 数学 科目 数学I 年間授業計画

教科 : 数学 科目 : 数学I 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第1学年

科担当者名 : (1組 : 竹内) (2組 : 久津見)

使用教科書 : (東京書籍 新数学)

使用教材 : ()

科目 数学I の目標 :

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
数の計算、数と式、二次関数等、基本的な概念や、原理・原則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする能力を身に付けるようにする。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多方面に見たり、目的に応じ適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその事象を、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力等を養う。		数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までに学習した基礎計算ができる。 ・整式の加・減・乗法の計算ができる。 ・因数分解が公式等を活用してできる。 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算ができる。 	数の計算	【知】 中学校までに学習する整数の四則演算ができる。 【知】 2次の乗法公式や、因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 【思】 問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりすることができる。	○	○	○	8
		1章 数と式 1節 文字と式 文字を使った式 整式の加法・減法 整式の乗法 因数分解 2節 実数 平方根 根号を含む式の計算					16
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式・不等式の意味が理解できる。 ・簡単な方程式・不等式が解ける。 ・簡単な2次方程式が解ける。 ・関数の意味が理解でき、値の計算をし、グラフが描ける。 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。 	1章 数と式 3節 方程式と不等式 1次方程式 不等式 2次方程式とその解き方 2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	【知】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 【思】 1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に、1次不等式を解く方法を考察することができる。 【態】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12
		2節 2次関数の値の変化 2次関数の最大値・最小値 2次関数のグラフと2次方程式 2次関数のグラフと2次不等式					18
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・2次方程式と2次関数のグラフとの関係が理解できる。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係が理解でき、グラフを活用し2次不等式の解が求められる。 	2節 2次関数の値の変化 2次関数の最大値・最小値 2次関数のグラフと2次方程式 2次関数のグラフと2次不等式	【知】 2次関数を平方完成し、最大値・最小値が求められる。 【知】 2次方程式・2次不等式と2次関数のグラフとの関係が視覚的に理解できる。 【思】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返ったりして、数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【態】 事象を2次関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	6 5 5
配 当 合 計 時 間							70

橘高等学校定時制 令和5年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科 科 : 保健体育 科目 : 体育 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名 : (1組 : 馬場 正彦 佐藤 佑哉)

使用教科書 : (現代高等保健体育 大修館書店)

使用教材 : ()

科目 体育 の目標 : 生涯にわたって心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを送れる資質と能力を養う。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけている。		・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		・生涯にわたって継続して運動に親しむため、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするとともに、健康・安全を確保している。			
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数	
1 学期	・柔軟運動、体幹トレーニングを行い、柔軟性向上・体幹を強化する(体づくり運動)。 ・自分のペアや相手のペアの特徴に応じた作戦をたて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク、サーブなどの安定したシャトル操作や、ダブルスにおけるパートナーとの連携した動きを高めて、ゲームを展開できるようにする(バドミントン)。	・体づくり運動 ・バドミントン ・体力テスト測定	【知】自己の狙いに応じ効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書いたりしている。 【思】体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動尾を楽しむための調整の仕方を見つけている。 【態】危険の予測をしながら、回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	1 19 6
	・バドミントンは上記と同様。 ・自チームや相手チームの特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたパスやドリブル、シュートなどのボール操作と守り方などのチームメイトと連携した動きを高め、ゲームを展開できるようにする(バスケットボール)。	・バドミントン ・バスケットボール	【知】自己の狙いに応じ効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書いたりしている。 【思】体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動尾を楽しむための調整の仕方を見つけている。 【態】危険の予測をしながら、回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	6 24
3 学期	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、理解することができるようにする(体育理論)。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図る(体づくり運動)。	・体育理論 ・体づくり運動	【知】体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることについて、言ったり書きだしたりしている。 【思】体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を身につけている。 【態】体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7 7
	配 当 合 計 時 間						70

橘高等学校定時制 令和5年度 教科：保健体育 科目：保健 年間授業計画

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1単位

対象学年組：第1学年 1組

教科担当者名：(1組：馬場 正彦)

使用教科書：(現代高等保健体育 大修館書店)

使用教材：(パワーポイント プリント)

科目 保健 の目標：現代の健康問題や、新しい時代の健康の考え方について理解する。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じ他者に伝える力を養う。		生涯を通じて自他の健康の保持増進や、それを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 健康を成り立たせている要因について説明できる。 我が国の健康問題について例を挙げて説明できる。 生活習慣病の種類と要因を説明できる。 がんの原因や治療法、緩和ケアについて説明できる。 健康と運動との関係性を説明できる。 食事と健康の関係について説明できる 1学期の授業内容を6割程度理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 期末考査 	<p>【知】各項目の内容に関して理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思】各項目について自他や社会の課題を発見したり、プリントに考えをまとめている。</p> <p>【態】各項目において、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
							2
							2
							1
							1
							2
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 健康と休養の関係や適切な休養のとり方について説明できる。 喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 飲酒による健康被害をあげることができる。 薬物乱用が心身の健康や社会におよぼす影響について説明できる。 精神疾患の例をあげられる。 予防する方法を説明できる。 治療法をいくつかあげられる。 感染症には何かがあるかいくつか説明できる。 感染症の予防法について説明できる。 2学期の授業内容を6割程度理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 休養睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 期末考査 	<p>【知】各項目の内容に関して理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思】各項目について自他や社会の課題を発見したり、プリントに考えをまとめている。</p> <p>【態】各項目において、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
							2
							2
							2
							1
							1
							1
							2
							1
							1
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 性感染症、エイズがほかの感染症と異なる点を説明できる。 健康に関する適切な意思決定や行動選択の際の工夫について説明できる。 社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。 3学期の授業内容を6割程度理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定 健康に関する環境づくり 期末考査 	<p>【知】各項目の内容に関して理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思】各項目について自他や社会の課題を発見したり、プリントに考えをまとめている。</p> <p>【態】各項目において、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
							2
							2
							1
配 当 合 計 時 間							35

橘高等学校定時制 令和5年度 教科英語科目英語コミュニケーションⅠ 年間授業計画

教科 : 英語 科目 : 英語コミュニケーションⅠ 単位数 : 2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名 : (1組 : 仲瀬・スミス)

使用教科書 : (Amity English Communication 1)

使用教材 : ()

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標 : 英語の基礎知識を復習し、中学英語の定着と高校英語への発展を目指す

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
英語の基礎知識を身に着ける。 英語の検定にチャレンジする		知識を活用しながら自分を表現する力を身に着けている。		主体的に学習に取り組もうとしている。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	数字、文字、品詞 be 動詞・一般動詞の現在形 be 動詞・一般動詞の過去形	お気に入りの場所についてやり取りしたり、まとめたものを発表したりする。 日常生活についてやり取りしたり、大切にしている人についてまとめて発表したりする。	【知】 be 動詞・一般動詞の現在形・過去形を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【態】 be 動詞・一般動詞の現在形・過去形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○		○	4 1 2 1 1
	進行形／助動詞 be 動詞／一般動詞／進行形／助動詞	コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする。 好きなスポーツ選手や好きな有名人についてやり取りしたり、自己紹介などをしたりする。	【知】 進行形や助動詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている。 【態】 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	1 3 1 3
3 学 期	不定詞 動名詞	動物に関することについてやり取りしたり、好きな生き物についてまとめて発表したりする。 健康や空いた時間についてやり取りしたり、写真を参考にし、自分の考えをまとめて発表したりする。	【知】 不定詞・動名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】 不定詞・動名詞を用いて、好きな動物について、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている。 【態】 不定詞・動名詞を用いて、好きな動物について、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	8 9
	配 当 合 計 時 間						

橘高等学校定時制 令和05年度 教科 情報 科目情報1 年間授業計画

教 科 : 情報 科目: 情報1 単位数: 2単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名 : (1組: 程島 彩花)

使用教科書 : (7 実教 情1 706 図説 情報1)

使用教材 : (一人一台端末の活用)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性】
コンピュータやデータの活用について理解し、コミュニケーションの力を身につけているとともに情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知識	思考	態度	配当時数
1 学 期	<p>情報社会と情報ネットワーク、コミュニケーション</p> <p>【知識及び技能】 情報技術の発展などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報利用の場面で適切に活用ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報技術の課題に対して主体的に対応する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワーク・SNSの普及と情報モラル 大切な情報を守るために 情報社会を支える法律 一人1台端末の活用等 	<p>【知識・技能】 情報技術の関連性を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報技術について適切に判断し活用した。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術について主体的に利用できているか。</p>	○	○	○	24
2 学 期	<p>情報デザインとデジタル化</p> <p>【知識及び技能】 デジタルデータの活用を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 デジタル化データを適切に表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報デザイン技術に対する主体的な対応力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報デザインの流れ、工夫 文字音声のデジタル化 画像と動画のデジタル化 一人1台端末の活用等 	<p>【知識・技能】 情報デザインの活用ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 デジタルデータを使い表現出来る。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報デザインを使って主体的に対応出来る。</p>	○	○	○	30
3 学 期	<p>データ活用とモデル化、アルゴリズム、プログラミング【</p> <p>知識及び技能】 コンピュータのアルゴリズム順次分岐反復の理解し活用出来る。</p> <p>【知識及び技能】 モデル化の目的とシミュレーションについて理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 データの収集と加工、分析などの問題に主体的に取り組ませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムの図式化 プログラムと言語 モデル化とシミュレーション データベース活用 	<p>【知識・技能】 コンピュータのアルゴリズム順次分岐反復の理解し活用が出来ている。【思考・判断・表現】 プログラムリストの適切な扱い方が出来ている。【主体的に学習に取り組む態度】 データの収集と加工、分析などの問題に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	16
				配 当	合 計	時 間	70

橘高等学校定時制 令和05年度 1年産業実習 年間授業計画

教科 科 : 産業 科目 : 産業技術基礎 単位数 : 3単位

対象学年組 : 第1学年1組

教科担当者名 : 井上 仁、大澤 正則、伊藤 博

使用教科書 : (補助プリント)

使用教材 : (電動ろくろ、電気炉、ガスバーナー、型抜き等)

目 標 : 作業について興味・関心を持ち、発言や手順を考え、他者と協働して取り組めること。

【知識及び技能】	【思考力・判断力・表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
各作業の準備、片付けや基本的な知識・技術の習得をするとともに、各種操作方法等の理解を深め、最後まで諦めずに作品を製作できる力を身に付ける。	各作業の作品製作にともなう説明を的確に把握し、考察を深めるとともに、産業技術基礎に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身に付けている。	各作業で作品製作に興味・関心を持ち、産業技術基礎の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して主体的に学習に取り組もうとしている。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目 内 容	評価の規準	評価の観点			予定時数
				知	思	学	
1 学期	・皮革工芸：井上 【知】皮革の基本的知識を身に付ける。 【思】裁縫に慣れる。 【学】理解を深める。	(皮革工芸) ・機器の準備、片付け ・裁縫 ・型抜き	【知】作業に対して発言やノートを取り、理解を深めようとしている。 【思】手順通りに製作しようとしている。またはより良い方法を考察しようとしている。 【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。	○	○	○	35
2 学期	・陶芸：大澤 【知】陶芸の基本的知識を習得する。 【思】土練の技術を身に付ける。 【学】ろくろ操作に慣れ、器を製作する。	(陶芸) ・道具の準備、片付け ・器の製作 ・土練 ・ろくろの操作 ・釉薬のかけ方	【知】作業に対して発言やノートを取り、理解を深めようとしている。 【思】手順通りに製作しようとしている。またはより良い方法を考察しようとしている。 【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。	○	○	○	35
3 学期	・ガラス工芸：伊藤 【知】ガラスの基本知識を習得する。 【思】安全な基礎作業を習得する。 【学】丁寧な作業で作品を製作し、準備・片付けなどを協力して行う。	(ガラス工芸) ・道具の準備、片付け ・安全基本作業 ・器具の取り扱い ・作品の保温	【知】作業に対して発言やノートを取り、理解を深めようとしている。 【思】手順通りに製作しようとしている。またはより良い方法を考察しようとしている。 【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。	○	○	○	35
							合計 105

橘高等学校定時制 令和5年度 ビジネス基本 年間授業計画

教科 科 : 産業 科目 : ビジネス基本 単位数 : 3単位

対象学年組 : 第1学年 1組

教科担当者名 : (1組 : 上野・柚木)

使用教科書 : (ビジネス基礎)

使用教材 : (自己作成プリント)

科目 ビジネス基本 の目標 : ビジネスの基礎知識を学習し、経済の仕組みの理解と基本定な簿記の仕組みを理解する。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
ビジネスの基礎知識を身に着ける。 基礎的な簿記会計を学ぶ。		知識を活用しながら理解するする力を身に着けている。		主体的に学習に取り組もうとしている。			
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	ビジネスの基本知識と仕組みを理解する	経済の仕組みについて基礎的な仕組みを指導する。	【知】 経済の仕組みについて概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○		○	6
	ビジネスの担い手について理解する。	ビジネスの担い手について重要性を理解している。	【態】 ビジネスの担い手について正しく理解しようとしている。				18
	経済の仕組みをとらえる能力を身につける。	経済の仕組みについてその概要を理解させる。					16
2 学 期	簿記の意味や目的を理解し、要点をとらえる技能を身につける。	簿記の必要性について理解させる。	【知】 簿記の意味を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○	○	○	18
	経済の知識を基に簿記の基礎知識を理解する力を身につける。	貸借平均の原則について理解させる。	【思】 貸借対照表を用いて、提示されたものから、企業の財政状態を理解できる。 【態】 練習問題からなぜ貸借平均の原則が成り立つのかを理解しようとする。				24
3 学 期	取引により資産・負債・純資産が増減することを理解させる。	個人企業における基本的な取引の仕訳ができるようにする。	【知】 取引を理解し、意味や要点を捉える技能を身に付けている。	○	○	○	11
		総勘定元帳・補助簿への転記、記入をできるようにする。	【思】 総勘定元帳への転記が正確に行い、そこから試算表の作成を体系的に思考することができる。 【態】 各種補助簿を用いて、企業の財政状態及び経営成績を把握しようとしている。				12
配 当 合 計 時 間							105